



グルの恩恵という光を持ち運びなさい

シャーンバヴィー・クリスチャン

「 templeの中にいなさい」のサツツァング

シッダ・ヨーガ・ユニバーサルホールでのライブ動画配信

2020 年4月 18 日 土曜日

ナマステー。

グルマーイは、バガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンプルからのこうしたライブ動画配信のサツツァングに、「 templeの中にいなさい」というタイトルを与えました。私たち——私たち一人一人——は何と幸運なのでしょう。COVID-19 のせいで世界中のほとんどの地域が実質的にロックダウン(都市封鎖)している間、私たちの多くは「所定の場所に避難」しながら、これらのサツツァングに参加できるのですから。

スワミ・イーシュワラナーンダがこの前の木曜日、4 月 16 日のサツツァングで話したように、私たちは厳密に言えば互いに離れていますが、グルマーイの恩恵によって、かつてないほど一緒にいます。スワミ・ジがこう言った時、それは本当に私の心に響きました。それはシャクティ・パート・インテンシヴの最後に、グルマーイが、「私たちはいつも心の中でつながっています」と話すのを思い出させてくれました。

この困難な時期に、私たちは、この、グルとの——そしてサンガム内での——つながりを、これまで以上によりはつきりと体験しています。私はグルの恩恵にたくさんの感謝をささげます。

私たちは皆、シッダ・ヨーガの道にいます。

私たちは皆、グルの恩恵という光を持ち運んでいます。

最近、ある人が、彼女のシッダ・ヨーギ仲間がこの時期を「恩恵の中に避難する」と言っていると教えてくれました。何と完璧で、何と真実なことでしょうか！ 私たちは実際に恩恵の中に避難しています。そして、シャクティパートを受け取って以来、それが私たちの生き方となっています。私はグルの恩恵にたくさんの感謝をささげます。

グルマールは私たちに、どのように自然は作用したり反応したりするのか、種子を隠したり花を誇示したりするのか、どのように自然は優しくも恐ろしくもあるのか、親切でも残酷でもあるのか、壮麗でも凶暴でもあるのかを観察することを学ばなくてはならないと教えました。自然がどのような装いをしようと、いかなる盛装をしている彼女に対しても、敬意を表す機会があります。

4月のシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムでは、ついに春がやって来て、冬の猛吹雪とはさようならをするのだと誰もが思いました。なぜそんなことを言うのかって？ なぜなら4月の間、私たちはアーシュラムの敷地の生き生きとした色の茂みや花々を楽しんでいたからです。何百というチューリップ、スイセン、レンギョウ、ヒヤシンス、ムスカリ、クロッカス、ツルニチニチソウ、モクレン、そしてツツジなどがありました。

ニッテャーナンダ湖やアーシュラムの周辺の木々は陽気に一斉に花を咲かせています。まだまだありますよ。

毎日、より多くの小鳥たちがさえずるのが聞こえ、新しい春の訪れを見ました——

コマドリ、ハゴロモガラス、ガン、スズメ、キツツキ、そしてツキヒメハエトリ。

春という季節の陶醉するような音と色彩にどんどん心を奪われつつあったちょうどその時、昨夕のことですが、私たちはもう一度冬に見舞われました。

軽い雨が降り始めました。雨粒には小さな白片が混じっていました…雨ではありません。今朝目覚めると、天がおよそ7インチ(18センチメートル)もの雪を送り届け、アーシュラム全体を覆う、輝く白い毛布を作り上げたのを目にしました。

そうです、ショックでした——しかしその時、先ほど話したように、私たちはまた自然の気まぐれに敬意を払うことを教えられたのです。

グルマーイが私に話してくれたのですが、インドでは、マーフィーの法則はマーフィー・カ・バガヴァンと呼ばれているそうです。こういうことです。私たちは春だと思ったが、マーフィー・カ・バガヴァンによれば、シュリー・ムクターナダ・アーシュラムでは実際にはまだ冬が終わっていない、というわけです。

何も私に同情してくれと言っているわけではありません——私は暖かい気候を楽しみにしていたわけですが。でも、共感したいと思うなら、私に温かい気持ちを送ってくださることは大歓迎です。



毎週土曜日のこうした「テンプルの中にいなさい」のサツァングでは、私たちは夕方のアーラティーの後にナーマサンキールタナに参加してきました。しかしながら、今夜は、世界保健機関とグローバル・シチズン・グループによって催される世界規模のイベント「One World:

Together at Home (一つの世界:家で一緒に)」に敬意を払うことにします。このライブ動画配信は、私が「サッドグルナートゥ・マハーラージ・キー・ジェイ」を一緒に歌いましょうと呼び掛けた後、まもなくして終了します。

私たちの多くは、音楽は、心がその最も深い感情を伝えるための本質的に強力な媒体である、と理解しています。私は、ロックダウンをしているさまざまな国の人々からの多数の胸打つ動画を見ました。彼らは、バルコニーや窓辺、そして屋根の上から共に音楽を作り出す方法を見つけました——歌い、楽器を演奏し、音楽を通じて互いを高揚させようとしていました。イタリア、スペイン、イラク、インド、レバノン、ドイツ、クロアチアからのビデオ——そして、私は、それはほんの一部にすぎないと確信しています。

また、昨夜はニューヨーク市で、多くの人々が同じ時間に声を合わせて、有名な歌、「ニューヨーク、ニューヨーク」を歌ったと聞きました。私がバデ・バーバのテンプルでこのことを話しているのは、私がバデ・バーバのことを見た、古いスーパー8 ミリの映像の幾つかの中で、何百という人々が彼の前で歌い、踊り、楽器を演奏していたからです。彼らは、音楽で大騒ぎしていました！

ですから、私はバデ・バーバが今夜のイベント「One World: Together at Home」をととても喜ぶだろうと思います。

皆さんご存じのように、これは寄付を集めるものではありません——その目的はあらゆる場所にいる医療従事者をたたえ、この世界で彼らが行っている計り知れない善行や、他の人々の命を救うために自らの命を常に危険にさらしていることへの支援と連携を示すためです。

このイベントでは、レコーディング・アーティストやコメディアン、その他のエンターテイナーたちが次々とパフォーマンスを行います。また、今回の危機の最前線にいる人々——医師たち、看護師たち、食料品店の店員たち——からの話もあります。

この「One World」イベントは人類の誇りです。そして、ミュージシャンとして私は特に、ミュージシャンや他のアーティストたちが、このイベントを制作するのを助けるために——私たちの精神を高揚させるために、医療従事者たちにさらなる勇気と元気を与えるために、この時期に苦しんでいる人々を経済的に援助するために等々——結束したことに感謝します。

シッダ・ヨーガの道で、私たちは音楽の振動には、計り知れないほどの癒やしの力があるということ、じかに体験して知っています。ですから、時間があるなら、そしてあなたの時間帯に合うのなら、あなたの支援を示すために、皆さんすべてがこのイベントに参加することを強くお勧めします。私たちは一つの世界なのです。

ありがとう、すべての皆さん——最も勇気があり、優しい皆さん。

アディオス(さようなら)、まん延する破壊的なウィルスとの闘いの中で
揺るぐことなくいる、すべての皆さん。

さようなら、親愛なる友人の皆さん。

良く考えましょう、善良なるすべての皆さん。

元気でね、この世界のすべての子どもたち。

お健やかに、すべての大切な人たち。

ご無事で、すべての賢明なる年配の皆さん。

私たち、私たち一人一人が安全でありますように。

私たち自身の心とつながり続けましょう。

シッダ・ヨーガのサンガムとつながり続けましょう。

私たちの未来が明るいものであることを信頼できますように。

